

## 天使病院を受診された患者のみな様へ

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。  
ご希望があれば、個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんのでお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

研究課題名	#99「天使病院における前置胎盤、低置胎盤症例の出血量等の後方視的解析研究」
研究の対象	2015年1月1日から2018年10月31日までに天使病院において、診断され手術を施行された前置胎盤および低置胎盤患者
研究目的・方法	産科危機的出血へのガイドライン2016において前置胎盤、低置胎盤は大量出血の基礎疾患として指摘されている。地域周産期母子センターの指定を受けている天使病院では年間数例において上記疾患の帝王切開術を行っているが、今回我々は術前評価では癒着胎盤が強く指摘されなかったにもかかわらず手術中に急速大量出血し危機的状況になったが救命できた症例を経験した。過去の症例について後方視的研究を行い、術中大量出血の可能性を示唆する危険因子を見出して、今後の麻酔計画をより適切にできる体制の構築に役立てたい。
研究期間	2018年11月30日～ 2019年 5月30日
研究に用いる試料・情報の種類	① 患者背景；年齢、身長、体重、出産時の妊娠週数、術前診断名 ② 術前検査所見：検体検査、画像診断 ③ 手術中の出血量、輸液輸血量、検査結果、麻酔方法、バイタルサイン ④ 予後 上記項目につき、胎盤位置、癒着胎盤所見などのキーファクターをもとにサブグループ解析をおこなう。
外部への試料・情報の提供	調査により得られたデータを取り扱う際には、被検者の秘密保護に十分配慮する。特定の個人を識別することができないよう、対象患者に番号もしくは番号を付与する。対応表は自施設で厳重に管理し、自施設外に個人情報の持ち出しは行わない（連結可能匿名下）。
外部からの試料・情報の提供	なし
研究組織	天使病院 麻酔科 藤井ひとみ（本研究責任者） 天使病院 麻酔科 石川太郎 天使病院 麻酔科 仙葉有紀 天使病院 麻酔科 三上恵理
問合せ先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先	〒065-8611札幌市東区北12条東3丁目1-1 社会医療法人 母恋 天使病院 麻酔科 藤井 ひとみ 電話番号:011-711-0101(代表) FAX:011-751-1708 E-mail:kikakukanri@tenshi.or.jp